

紙藍会便り

2012年 第11号

組合員社数：25社
発行月：2013年3月

目次

1. 巻頭雑句『知らんかい』
2. 12月～2月主な出来事
3. エコプロダクツ2012視察
4. アンケートデータ

巻頭雑句『知らんかい』

第10回

『2019年W杯』

サッカーが好きなお方からしたら何を言っているんだこいつ？って感じなのでしょ。うが2019年に日本でワールドカップが開催されるのです。まあ、ラグビーのワールドカップなんです。今回、私が注目した2019ラグビーワールドカップはアジアで初の開催となります。

つい先日には『東福岡高校が花園での全国大会4連覇ならず』や『帝京大学が史上初の大学選手権4連覇』などスポーツ紙の一面をにぎわせていました。が如何せんマイナーなスポーツ。試合会場に居るのは選手の保護者の方や「俺はこれからお前たちを殴る」世代のおっさんばかり。このままではい

かん！と思わず少しラグビーについて語ります。と言っても私のラグビー経験は高校の授業でやったのみなので観戦専門ですが（苦笑）

私が主に観戦に行くのは高校ラグビーです。その中でも一番のお勧めが5月の連休中に福岡県の宗像グロバルアリーナにて開催されるサニックスワールドラグビークロス交流大会です。今年で14回目を迎えるこの大会は世界各国の高校チャンピオン8校と日本国内の有力校8校で行われます。なぜこの大会がお勧めなのかはニュージーランドやサモアやトンガといったポリネシアンの高校生が繰り広げる戦いの舞・ウォークライ（有名なところではニュージーランド代表オールブラックスが行う【ハカ】）が無料で見られるからです。高校生と言っても体格

はほとんど出来上がっているの迫力満点です。また、スコットランドから来るエリザベス女王お墨付きのバグパイプバンド演奏も大会に色を添えます。そしてこの大会に出ている選手達は2019年には23歳前後。ワールドカップに出ているもおかしくない年齢です。みなさんも5月の連休中の稼ぎ時に休みして未来のスター候補を観に行きませんか？そして2019年には博多の森で彼らと再会しませんか？

竹原 直樹



ハカを舞うマオリ族の男性たちを描いた肖像画（1845年ごろ）
出典：wikipedia『ハカ（ダンス）』

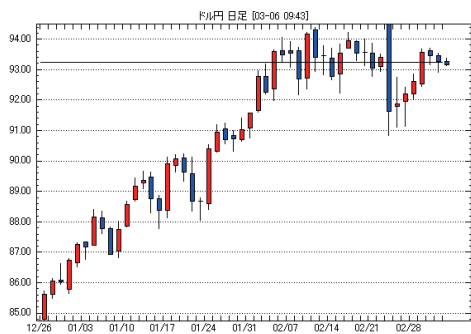
第2回合同定例会開催

12月11日、九州製紙原料直納商工組合との合同定例会が開催された。今回で夏に続き2回目の開催となる。市況報告・地域情報等、進行はつつがなくおこなわれた。その後合同での忘年会が開催された。

2012年を振り返り
2013年の展望

2012年は、古紙においても変動の激しい年であった。輸出価格の暴落、国内価格の値下げ、選挙・政権交代に伴う急速な円高修正など…。製紙業界においては通常円高が好ましいといわれるが行き過ぎた円高は経済の低迷による紙需要減

に加え、輸入紙の増加とマイナス面も強かったように思われる。年末から続く円安・株高により中小企業含む企業マインドは急上昇し、先行きがどちらかといえれば明るいと言え、人が過半数を超えてきている。景気がよくなれば消費が増え、生産も増える。紙の消費は文化・経済のバロメーターといわれるので、もちろん古紙も増えるはずである。2013年は景気が良くなる事を前提に古紙の発生量増加を期待したい。



円高修正が続く
出典：MSN為替チャート

12月13日～15日に東京ビッグサイトにてエコプロダクツ2012が開催された。エコプロダクツとは、幅広い分野の最先端の環境技術・製品・サービス等が一堂に集まる日本最大級の環境展示会である。今回紙藍会として初めてエコプロダクツの視察をおこなった。製紙メーカー各社が出展している特徴あふれるブースを見学し終始盛況な様子には圧巻であった。視察中にも同業者の方と出会い、注目されている展示会であると再確認できた。また、想像以上に小中学生の参加が多くアンケートクイズを友達間で答え合わせしながら提出し、試供品をもらっている姿を見、これは立派な自主性溢れる環境教育の1つであろうと感じました。



3日間で総計 17万 8501 人の来場者
出典：エコプロダクツ 2012HP

11月・12月・1月 バラ物数量対前月・前年推移データ (平均値記載)

(単位%)	段ボール			新聞			雑誌		
	11月	12月	1月	11月	12月	1月	11月	12月	1月
対前月	97.33	109.07	86.69	100.87	114.00	89.19	95.20	122.07	86.38
対前年	99.67	99.29	98.44	95.87	98.07	97.69	97.33	100.14	98.06

詳細なアンケートデータは紙藍会定例会時に配布しています。